



平成29年度に採択した 市民提案型協働事業を紹介します

「市民提案型協働事業」は、NPO法人やボランティア団体などの市民活動団体が実施する市民活動を応援するとともに、市民と行政の協働のまちづくりを推進することを目的として実施している制度です。

平成29年度は4件の事業が採択され、さまざまな視点をもった魅力的な事業が実施されました。

★高齢者のふれあい居場所づくり事業

【団体名】干潟ふれあいミニサロン

70歳以上の高齢者を対象に、移動手段がない人でも参加しやすい場所で、交流や健康維持を目的とした勉強会やレクリエーションを実施しました。

参加者にとって楽しく学べる場になったとともに、自分自身の健康について見直す機会になり、また家族や地域の人と積極的にコミュニケーションをとるきっかけになりました。



★下町ふれあい広場事業

【団体名】下町ふれあい広場

下町区公民館で、下町区や近隣地域の子どもから高齢者まで、誰でも集まれるような居場所作りの事業を行いました。

広場では、ソーメン流しや芋掘り、クリスマス会などの季節の行事も実施。その結果、多くの人に参加し、参加者にとっての安心・安全な居場所となりました。



★女性リーダーの発掘・育成事業

【団体名】CORAL(コーラル)

地域で女性リーダーとして活躍するために必要な、「思いを伝える」力を養うプレゼンテーション講座(全3回)を実施しました。

プレゼンテーションの知識を身につけつつ実践することで、自身の思いを伝えるためのスキルを身につける講座となりました。

また、昨年度から継続して事業を実施することで、リーダー育成、人材育成にも繋がり、女性の活躍への大きな一助となりました。



★子ども支援食事会事業

【団体名】元気塾

「生きる基本は食です。『食』は愛です。今、伝えたい『食』の大切さと優しさ」をキャッチフレーズに、子どもを対象とした食事の提供とレクリエーションを実施しました。

子どもと大人が触れ合い、子どもにいろいろな世代と交流してもらうとともに、楽しんで食事する機会を提供することができました。また、子ども食堂の取組が、地域の子どもを見守る上で重要だということを、発信することができました。

